

学校給食における ジビエ利用の推進に向けた手引き



令和8年6月

中国四国農政局農村振興部農村環境課

はじめに

近年、野生鳥獣による様々な被害が発生し大きな問題となっています。

また、農作物被害のみならず農山漁村での生活にも影響を与えています。

このため、農林水産省では、鳥獣被害を防止するため、鳥獣の捕獲等の強化や捕獲鳥獣のジビエ利活用に向けた取組等を進めています。

特に、ジビエへの利活用推進にあたっては、捕獲・処理加工・供給・消費の各段階において、利活用推進に必要な対策への各種支援を行っており、外食産業での利用の拡大・定着や、ペットフードなどの新用途の開拓により、着実に利用量が増加しています。

一方で、学校給食でのジビエの利用については、まだ十分に広がっていないのが実態です。給食でジビエを体験することは、地産地消の取組の一環として食育の効果が期待できるとともに、子どもたちの農山漁村に対する関心を高める良い機会になるものと考えています。

このため、中国四国農政局では管内の地方公共団体等と連携し、学校給食におけるジビエ利用の実態を把握するとともに、令和3年度に有識者の意見聴取会を開催し、学校給食のジビエ利用の課題、対策などについて議論を行い、本冊子を取りまとめ、さらに、今年度収集した取組事例を追加しました。

本冊子が、地方公共団体の鳥獣被害防止対策・ジビエ利活用担当者や、食肉処理業者及び学校給食関係者の方々にとってジビエ給食の導入に取り組む上での参考となり、ジビエ利用の一層の推進に資することを期待するものです。

(学校給食におけるジビエ利用の推進に関する意見聴取会メンバー)

教育行政担当：鳥取県教育委員会事務局体育保健課 盛本 真理

学校給食担当：岩美町立岩美中学校 栄養教諭 池田 和子

(前任校：若桜町立若桜学園小学校 栄養教諭)

食肉処理施設担当：わかさ29工房 施設管理責任者 河戸 建樹

令和8年6月

中国四国農政局農村振興部農村環境課

目 次

第1章	野生鳥獣被害の現状	
1.	野生鳥獣による農作物被害の状況	1
第2章	鳥獣被害防止対策と利用	
1.	被害防止対策の実施状況と捕獲状況	
(1)	被害防止対策の実施状況	2
(2)	捕獲の状況	3
2.	捕獲鳥獣の利用実態と課題	
(1)	利用実態	4
(2)	捕獲鳥獣利用の課題	4
第3章	ジビエ振興の必要性	
1.	ジビエ利用の現状と必要性	5
2.	捕獲から流通・消費までの流れ	
(1)	捕獲	7
(2)	処理加工・流通	7
(3)	衛生基準	8
3.	ジビエの魅力（栄養成分）	10
4.	ジビエ利用の拡大	12
第4章	学校給食におけるジビエ利用の促進	
1.	学校給食におけるジビエ利用状況	13
2.	学校給食へのジビエ導入の意義	14
3.	学校給食へのジビエ導入の手順とポイント	17
第5章	先進的な取組事例	
事例1	鳥取県	21
事例2	島根県美郷町	22
事例3	岡山県真庭市	23
事例4	岡山県西粟倉村	24
事例5	広島県庄原市	25
事例6	山口県	26
事例7	徳島県	27
事例8	愛媛県今治市	28
事例9	愛媛県伊方町	29
事例10	高知県梶原町	30
[参考資料]		
■	鳥取県の学校給食へのジビエ導入に関する基礎資料	32
■	鳥取県学校給食レシピ集	36
■	野生鳥獣肉の加工、調理及び販売時における取扱	44
■	ジビエ関連サイトの紹介	45